

二〇〇四年度後期～二〇〇五年度前期 文学研究科院生の研究活動

真宗学専攻

○真宗研究会

《修士論文中間発表》

日程 二〇〇四年十一月十七日（水）於 本学清和館三階大ホール

- ・ 法然法語の研究 田口敏明（M2）
- ・ 他力廻向義の成立背景の研究 立花慈光（M2）
- ・ 親鸞の救済思想と弘願転入 無漏田智道（M2）
- ・ 真宗における社会的実践の研究 山崎善太（M2）
- ・ 『浄土論註』における「奢摩他」・「毘婆舍那」の研究 熊谷 崇（M2）
藤田真証（M2）

・ 功存教学の再検討

《後期例会》

日程 二〇〇四年十二月一日（月）於 本学清和館三階大ホール

講師 児玉 識（元本学教授）

演題 真宗のエートスを考える

～真宗学と真宗史学の接点を求めて～

《前期例会》

日程 二〇〇五年七月四日（月）於 本学清和館三階大ホール

講師 矢田了章（本学教授）

演題 真宗学の方法論～浄土教理史、真宗教学史に関して～

現代教学研究会

《定例学習会》

毎週火曜日午後六時より 於 真宗学合同研究室

テーマ 他宗教の理解―橋爪大三郎『世界がわかる宗教社会学入門』を通して―

○学会発表

《龍谷大学真宗学会第五十八回大会》

日程 二〇〇四年十一月九日（火）於 本学清和館三階大ホール

・ 信と証 岡崎秀磨（D2）

・ 蓮如上人における『安心決定鈔』依用について

六雄 信（D2）

・ 二種深信の臨床的研究―二種深信と自我同一性の関係―

長岡岳澄 (D3)

《日本印度学仏教学会第五十六回学術大会》

日程 二〇〇五年七月二九日 (金)・三〇日 (土)

於 四天王寺国際仏教大学

- ・親鸞における「横超」考察 岡崎秀麿 (D3)
- ・初期真宗の教団指導者像 黒田義道 (D3)
- ・垂名示形論再考 赤淵弘祐 (D3)

《日本宗教学学会第六四回学術大会》

日程 二〇〇五年九月九日 (金)・一一日 (土) 於 関西大学

- ・真宗学における現代的問題へのアプローチ—方法論を中心に— 打本未来 (D3)
- ・田辺哲学における親鸞思想理解—三願転入論を中心として— 竹本了悟 (D3)
- ・親鸞における言語観 赤淵弘祐 (D3)
- ・真宗助正論の研究 岡崎秀麿 (D3)
- ・初期真宗教団の「師」と「善知識」 黒田義道 (D3)

仏教学専攻

《修士論文中間発表》

日程 平成十六年十一月二日 (火)

於 龍谷大学大宮学舎東翼二〇三教室

- ・現代と初期仏教の倫理観—正義論と仏教的善悪—

波多唯明 (M2)

- ・仏教における悪人の研究—律蔵における提婆達多の記述を中心として—

柴田幸二 (M2)

- ・律蔵規定における浄法

上野彰雄 (M2)

- ・『入中論』第6章の研究

金沢 豊 (M2)

- ・空と慈悲
- ・『中論』にみる空思想
- ・業論の研究

竹内 知 (M2)

日程 平成十六年十一月十六日 (火)

於 龍谷大学大宮学舎東翼二〇三教室

- ・『不増不減経』の研究 脇屋智道 (M2)
- ・証真教学の研究—天台教判の展開— 二條歆子 (M2)
- ・日蓮教学における五時八教の受容について 西村雄二 (M3)
- ・『阿閼仏国経』の研究 金子大輔 (M2)
- ・地藏信仰の展開—十王信仰との関わりを中心として— 森 啓子 (M2)

古谷友宏 (M3)

- ・唯識説における種子の研究

《平成十六年度龍谷仏教学会学術大会》

日程 平成十七年一月十三日 (木)

於 龍谷大学大宮学舎西翼2F大会議室

- ・道宣の末法観 小谷知弘 (D2)

・『希有未曾有法經』における菩薩誕生記事の問題点

天野 信 (D2)

・十誦律と根本有部律の結集記事

井上博文 (研究生)

《法華宗教学研究発表大会》

日程 平成十七年二月十六日 (水) 於 メルパルク大阪

・日蓮聖人の成仏論

三浦和浩 (D1)

《二〇〇五年度卒業論文の書き方説明会》

日程 平成十七年七月十九日 (火)

於 龍谷大学大宮学舎東翼一〇一教室

・卒業論文をどう書くか

天野 信 (D3)

・資料収集と保存方法

金沢 豊 (D1)

・卒論執筆に関する注意事項

小谷知弘 (D3)

《日本印度学仏教学会 第五十六回学術大会》

日程 平成十七年七月二十九日 (金) 於 四天王寺国際仏教大学

・ニカーヤにおける菩薩誕生記事の問題点

天野 信 (D3)

・釈尊の三聚浄戒理解

大谷由香 (D3)

・道宣の種子戒体説の検討

小谷知弘 (D3)

・明恵の五秘密与五聖同体説

野呂 靖 (D3)

・『大乘義章』に見る円融思想

北塔愛美子 (研究生)

・『中辺分別論釈疏』の再校訂のために

金 才權 (研究生)

・『法華経』方便品における菩薩行

早川貴司 (研究生)

日程 平成十七年七月三十日 (土) 於 四天王寺国際仏教大学

・慧思の法華三昧前方便の考察

鶴田大吾 (研究生)

《第四十三回法華宗教学研究総会》

日程 平成十七年九月六日 (火) 於 メルパルク大阪

・中古天台に見られる本迹仏身論(一)―『本理大綱集について』―

三浦和浩 (D2)

哲学専攻

《龍谷哲学会主催学術講演会》

タイトル：公共的利害関心か、個人的利害関心か―社会哲学における昔からの論争の現代的課題―

講師：カール・アハム教授 (Karl Acham, グラーツ大学社会学科

教授)

・於：清和館3階大会議室

・日時：二〇〇四年十月十四日 (木) 十五時―

《平成十六年度修士論文中間発表会》

・発表者1：松尾治郎 (M2)、タイトル：「二義性への問い」

・於：北102

・日時：二〇〇四年一月六日 (木) 十五時―十六時三十分

《平成十四―十六年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(二))プルウタルコスの総合的研究『英雄列伝』の人物描写と『モラリア』の倫理観』研究発表会》

- ・発表者1：野村昌章（研究生）、タイトル：「プルタルコスのダイモニオン理解—『ソクラテスのダイモニオンについて』（De Genio Socratis）における知性の声」

於：龍谷大学大宮学舎西翼三階小会議室

日時：随時

教育学専攻

二〇〇五年度修士論文中間発表会

日程 七月九日 於 龍谷大学大宮学舎 南—二〇二

- ・「青年期後期における笑いの尺度の作成」 吉山宜秀（M2）
- ・「介護福祉士養成教育におけるグループワーク体験による学生の変化に関する研究」 児玉龍治（M3）
- ・「青年期における自己嫌悪感と自己効力感の関係」 松田秀樹（M2）

・「学校・家庭・地域の連携における中学生の健全育成の研究—適応指導教室を事例にして—」 橋本英司（M2）

・「ある自閉症児における遊戯的関わりによる発達的変容についての事例研究」 井上博晶（M2）

・「青年期におけるふれあい恐怖心と友人関係との関連について」 梅本 直（M2）

・「学童後期の母親における養育態度と自身が受けた養育態度との関連性について」 山口淑子（M2）

- ・「学童養護施設入所児童における異なる自己像とその関係性イメージについて」 杉山 僚（M2）

・「青年期における母娘関係と心理的適応との関連について」

辻尾明子（M2）

〈教育哲学会第四十七回大会〉

日程 二〇〇四年十月十六日 於 横浜国立大学

- ・「ヤスパースにおける愛と交わり—自己生成の基盤としての愛—」 広川義哲（D3）

〈関西教育会第五十六回大会〉

日程 二〇〇四年十一月二十日 於 聖和大学

- ・「ヤスパースにおける『水準の同等性』と交わり」 広川義哲（D3）

〈論文〉

- ・「演劇的問題表象のメソドロジー序説—リアリティとアクチュアリティの往還と教育研究における臨床性—」

『龍谷大学教育学会紀要』第四号（二〇〇五） 広川義哲（D3）

〈教育史学会第四十八回大会〉

日程 二〇〇四年十月九—十日 於 法政大学

- ・「国民学校の総合教授に関する研究—文部省における教育審議会会答申の受容とその影響—」 井上兼一（D3）

〈関西教育会第五十六回大会〉

日程 二〇〇四年十一月二十日 於 聖和大学

・「国民学校の教科書編纂に関する一考察」 井上兼一 (D3)

〇五

〈中部教育学会第五十四回大会〉

日程 二〇〇五年六月十八日 於 福井大学

・「国民学会の教育理念に関する研究(その2) — 「八紘一宇」

概念の解釈について —

井上兼一 (研究生)

〈論文〉

・「一九三〇年代における宗教教育政策の転換とその影響」

『龍谷大学大学院文学研究科紀要』第二十七集 (二〇〇五)

〈現代韓国朝鮮学会第6回定例研究会〉

日程 二〇〇五年二月二十六日 於 神戸大学

・「中国朝鮮族と韓国人の大学生における相互認識—国境を越える民族関係に着目して—」

出羽孝行 (研究生)

〈日本比較教育学会第四十一回大会自由研究発表一—三東アジア部会〉

日程 二〇〇五年六月二十五日 於 日本大学

・「中国朝鮮族の位置付けと民族教育の現況について」

出羽孝行 (研究生)

〈論文〉

・「中国延辺の朝鮮族学校における二言語教育の可能性」

『関西教育学会研究紀要』第五号 (二〇〇五) 出羽孝行 (研究生)

(共著の単行本)

・「日本の」一部と「韓国」

『アジアの教科書の子ども』ナカニシヤ出版 塘利枝子編 (二〇〇

出羽孝行 (研究生)

国史学専攻

国史学専攻活動報告

〈国史学合同研究室活動報告〉

二〇〇四年度後期

《研究発表例会》

日程 十月四日 (月)

・真宗優越地帯における保守主義について 長谷川典彦 (M1)

日程 十月二十五日 (月)

・近代天皇制国家の形成—岩倉具視の活動を通して—

朝熊香織 (M2)

日程 十一月一日 (月)

・井上毅論 谷 健 (M2)

日程 十一月八日 (月)

・近世中後期の民衆思想—富士講を中心に— 橋本英治 (M2)

日程 十一月十五日 (月)

・平安時代初期天皇制の史的特質 長谷部寿彦 (M2)

日程 十一月二十二日 (月)

・八世紀における天皇生母—喪葬儀礼を中心に—

松井桜子 (M2)

日程 十一月二十九日 (月)

・明治維新変革主体の形成過程について―天保期以降の長州藩を

中心として―

林 大輔 (M2)

日程 十二月六日 (月)

・平安時代における平安京の衛生環境

猪熊理恵 (M1)

日程 十二月十三日 (月)

・郡上宝暦騒動に関する一考察―仲間入証文を基に―

今尾智有 (M1)

《研究会・輪読会》

考古学研究会 毎週火曜日六講目より

担当 北井利幸 (D2)・尼崎市立田能資料館嘱託)

古代史料輪読会 毎週金曜日六講目より

担当 日裏高博 (D3)

中世史料・論文輪読会 月一回、史料：火曜日四講目、論文：火曜

日五講目より

担当 史料：坂口太郎 (M1)、論文：長谷部寿彦 (M2)

近世史料輪読会 隔週火曜日三講目より

担当 土谷渉 (D2)

近代思想史研究会 第一・三水曜日五講目、第四土曜日三講目より

担当 井之上大輔 (D2)

《史跡踏査》

十月二十四日 (日)

坂本・比叡山方面

《院生個人による全国学会発表記事》

十一月二十六日 (金) 二〇〇四年度龍谷大学史学会史学大会

・幕末における学習院の政治的動向

高山嘉明 (M2)

二〇〇五年度前期

《研究発表例会》

日程 五月二十三日 (月)

・鎌倉後期の公家政権と漢学二題

坂口太郎 (M2)

日程 五月三十日 (月)

・『葉隠』における山本常朝の武士道観についての考察

内田紀子 (M1)

日程 六月十三日 (月)

・日中戦争期における日本兵士の反戦運動

磯崎 啓 (M1)

日程 六月十八日 (土)

・近畿地方における人物埴輪の展開

栗村恭岳 (M1)

日程 六月二十七日 (月)

・兵士と銃後社会の戦争観―十五年戦争期の軍事郵便をもとに―

寺戸尚隆 (M1)

日程 七月二十五日 (月)

・南勢地域における群集墳と首長墳

木許 守 (M1)

日程 八月一日 (月)

・十・十一世紀の御霊会について―正暦御霊会研究序説―

丹羽英孝 (M2)

史部会合同企画 第5回卒論報告会

・中世禅林の飲酒に関する一考察

芳澤 元 (M1)

《研究会・輪読会》

考古学研究会 (1) 毎週火曜日六講目より

七月十日 (日) 日本史研究会近現代史部会 卒論報告会

・兵士と銃後社会の戦争観―十五年戦争期の軍事郵便をもとに―

担当 北井利幸 (D3・尼崎市立田能資料館嘱託)

考古学研究会 (2) 毎月第四日曜日二講目より

担当 木許 守 (M1)

東洋史学専攻

古代史料輪読会 毎週金曜日六講目より

担当 河合健成 (M2)

二〇〇四年度後期

《学部生研究発表例会》

古記録輪読会 月一回土曜日四講目より

担当 横澤大典 (本学非常勤講師)

於 大宮学舎西翼二階東洋史学合同研究室

中世史研究会 月一回水曜日四講目より

担当 長谷部寿彦 (D1)

第一回 十一月十二日 (金)

深山 正俊 (L4)

・春秋時代の会盟

斎藤 秀如 (L4)

中世古文書研究会 月一回木曜日四講目より

担当 坂口太郎 (M2)

第二回 十一月十九日 (金)

・抗仏勢力と国境の確定―清仏戦争後のトンキン高地の変容―

近世史料輪読会 隔週木曜日三講目より

担当 高山嘉明 (D1)

第三回 十二月八日 (水)

望月 直人 (L3)

近代思想史研究会 第四土曜日三講目より

担当 木下和子 (D1)

・匈奴フン同族論

松田 剛幸 (L4)

《第二十八回研究大会》

日時 十二月三日 (金) 午後一時より

《院生個人による全国学会発表記事》

五月二十二日 (日) 日本史研究会中世史部会・大阪歴史学会中世

研究発表

於 大宮学舎清和館三階ホール

・広開土王の肅慎討伐

赤羽奈津子 (M2)

・胡服騎射に関する一考察

石本 利宏 (M2)

・漢代から魏晉南北朝における月氏集団について

大西 啓司 (M2)

・クシャーン朝のインド侵入

宮本 亮一 (M2)

・西夏の監軍司について

大島 勝俊 (D3)

学術講演

講師 村岡 倫先生 (本学文学部助教授)

演題 チンギス・カン西征の道とその軍事拠点

—二〇〇四年度現地調査報告をかねて—

《学術講演会》

日時 十一月五日 (金) 午後三時より

於 大宮学舎西翼二階大会議室

講師 堀川 徹先生 (京都外国語大学外国語学部教授・

国際言語平和研究所所長)

演題 ヒヴァ・ハン国のイスラーム法廷文書

二〇〇五年度前期

《第二十九回総会》

日程 六月三日 (金) 午後一時より

於 龍谷大学大宮学舎東翼一〇四教室

記念講演

講師 小南一郎先生 (京都大学名誉教授)

演題 魂の考古学

《輪読会の運営》

・一回生対象漢文輪読会

テキスト『漢書』 卷五十五 衛青・霍去病伝

毎週金曜日 午後五時三十分より

責任者 大西 啓司 (D1)

・二回生対象漢文輪読会

テキスト『三国志』 卷十 賈詡伝

毎週月曜日 午後三時三十分より

毎週木曜日 午前十一時より

責任者 松尾 郁子 (D2)

・その他の漢文輪読会

テキスト『春秋左氏伝』

毎週木曜日 午後三時より

責任者 深山 正俊 (M1)

テキスト『三国遺事』 卷一 紀異・古朝鮮

毎週木曜日 午後三時より

責任者 赤羽 奈津子 (D1)

テキスト『史記』 卷一二九 貨殖列伝

毎週月曜日 午後三時より

責任者 佐伯 光祥 (D3)
テキスト『三国志』 卷五十六 朱然伝

毎週火曜日 午前十一時より

責任者 朝山 明彦 (D4)

テキスト『宋史紀事本末』 卷四十 西夏用兵

毎週水曜日 午後三時より

責任者 大島 勝俊 (D4)

テキスト『十駕齋養新録』

毎週金曜日 午後五時より

・学部生対象欧文文献輪読会

日時要相談

責任者 宮本 亮一 (D1)

・ペルシア語輪読会

日程要相談

責任者 村岡 倫 (本学文学部助教授)

・ペルシア語中級輪読会

日程未定

責任者 土屋 和良 (賛助会員)

・現代トルコ語初級輪読会

日程未定

責任者 土屋 和良 (賛助会員)

・チャガタイ・トルコ語入門輪読会

日程未定

責任者 土屋 和良 (賛助会員)

日本語日本文学専攻

《龍谷大学文学研究科日本語日本文学専攻合同研究発表会》

日程 二〇〇四年九月十八日(土)・十九日(日) 於龍谷大学

・宇治十帖という物語社会の論理―「世」からの逃走、「世」との

闘争― 岩田行展 (M2)

・『とりかへばや』における「とりかへ」について

井上聖子 (M2)

・『義経記』『牛若奥州下り物語』の編集意図 勝亦智之 (M2)

・夏目漱石『行人』論―一郎の思考の枠組みとその限界―

吉永恵利加 (M2)

・坂口安吾『白痴』論―白痴と名指される女―室 鈴香 (M2)

・移動動詞における日本語・韓国語の対照研究―動詞「行く」と

「gada (行く)」の意味分析― 金仁錫 (M2)

・埋め込み文をつくる「の」の静態的研究 森田恵美子 (M3)

・『夜の寢覚』における天人降下事件とその機能―事・言・琴の視

点から― 松田美由貴 (M2)

・五世川柳の研究 河上一平 (M2)

・真宗談義本について 西山智史 (M2)

・宮沢賢治『風の又三郎』論―「風の又三郎」という表象をめぐ

つて― 塚田典子 (M2)

・川端康成『死体紹介人』論―「死を超越する」ための「死体紹

介人」― 陳丹妮 (M2)

《古代文学研究会 十一月例会》

日程 二〇〇四年十一月十四日(日) 於名古屋大学

・浮舟をめぐる「世」、「世」をめぐる浮舟 岩田行展 (M2)

《伝承文学研究会関西例会》

日程 二〇〇五年三月二十三日 (水) 於立命館大学末川記念会館

・『義経記』「牛若奥州下り物語」の編集意図 勝亦智之 (D1)

《関西軍記物語研究会 第五十四回例会》

日程 二〇〇五年七月十七日 (日) 於大原の里

・平家物語「観賢僧正説話」考―『高野物語』と長門本・南都異本の関係― 浜畑圭吾 (D2)

英語英米文学専攻

二〇〇四年度 (後期)

《研究発表会》

日程 九月十八日 (土) 午後二時―五時 於 南饗二〇三教室

・ニック・アダムズの作法―“Big Two-Hearted River”における子行為と描写と禪の思想 森脇正史 (D3)

《Poetry Reading》

日程 十月二十二日 (金) 午後五時―八時 於 英語英米文学合同研究室

研究室

《修士論文中間発表会》

日程 十一月十七日 (水) 午後五時―八時 於 英語英米文学合同

研究室

・The Function of “Nature” in D. H. Lawrence’s *Sons and Lovers* 森田 和 (M2)

・How to Go: The Relationship between Creation and Death 二羽弘史 (M2)

・A Study of *The Scarlet Letter*. Nathaniel Hawthorne and Puritanism 清水祥子 (M2)

《Poetry Reading》

日程 十月十九日 (金) 午後五時―八時 於 英語英米文学合同研究室

《Poetry Reading》

日程 十月十五日 (水) 午後五時―八時 於 英語英米文学合同研究室

《談話会》

日程 五月二十一日 (土) 午後二時三十分―五時 於 英語英米文学合同研究室

・E. A. Poe “The Gold-Bug” の手法についての一考察

左近誠道 (M1)

《修士論文中間発表会》

日程 六月十五日（水）午後三時三十分―八時 於 英語英米文学

合同研究室

- American Culture through Paintings: American Realist and Pre-Modernist Painters of the Late 1800's and Early 1900's
Stéphanie Boissot (M²)
高 岩 (M²)
- A Relevance-Theoretic Analysis on Printing Advertisements
清水祥子 (M³)
- A Study of *The Scarlet Letter*. Nathaniel Hawthorne and Puritanism
清水祥子 (M³)